

## 「神奈川県立図書館の発展を考える会」設立趣意書

神奈川県は昨年（2012年）緊急財政対策の一環として、現在の神奈川県立図書館と県立川崎図書館を統合し、統合後の新県立図書館においては閲覧や貸し出しのサービスを廃止、市町村立図書館を通じての貸し出しのみを行うという方針を発表しました。この案によれば、利用者が入れず、その結果多数の資料が死蔵される、もはや図書館とは呼べない倉庫のような施設が出現することになります。

このような事態を憂慮した有志が、2013年1月6日に集まって協議した結果、県立図書館の一層の発展を願い、その望ましい将来像を考える緩やかな結びつきの組織を発足させ、まずはこの問題の打開に向けて活動していくことになりました。

### <会の名称と目的について>

設立にあたり会の名称を「神奈川県立図書館の発展を考える会」としました。これは現在の県立2館の伝統を守るだけでなく、これまでの活動と実績を基礎として新しい時代に対応できる神奈川の県立図書館を構想する自由な討議の場でありたいからです。名称の意味はすなわち会の目的でもありますが、具体的には、県民、市町村立図書館、企業などをバックアップしてきた県立図書館としての固有の役割を検証しつつ、今後どのような機能を全うすれば新しい県立図書館として真に県民に役立ちうるかを考えていくことです。厳しい神奈川県の財政を考慮して経営の効率化も当然視野に入れますが、それだけを優先する短絡的な発想は排していきます。

当面の課題としては、

- 1) 神奈川県が示した方向性では、図書館とは言えないものになってしまいます。まずその白紙撤回を求めていきます。

- 2) 県立図書2館の現場の創意を尊重しつつ、私たちも県立図書館像を考えていきます。
- 3) 県民に私たちの考え方を発信し、県知事、県議会議員等に対して働きかけをします。

<活動スタイル>

会員制ではなく従って会費は徴収しません。

個人でも団体でも、都合のつく人が自分のできることで参加する、参加自由の会です。

活動に参加していただける方は、ぜひ会までご連絡ください。

会長は意見のとりまとめや会を代表しての発言を行い、事務局は参加者の情報交換と外部への発信をしていきます。

みなさまの積極的なご参加と自由闊達なご発言を心よりお待ちしております。

どうぞよろしくお願ひ申しあげます。

会長 木村武子

<事務局>

林 秀明

大村勝敏

E-mail : [komura@jcom.home.ne.jp](mailto:komura@jcom.home.ne.jp)

Tel: 090-1769-1315 (大村)